

(様式4) 令和4年度 小中一貫教育「徳島モデル」推進事業実施報告書

実践地域	三好市(西祖谷中学校地区)
1	<p>本年度の研究テーマ</p> <ol style="list-style-type: none">① 9年間の「学びと育ち」を支える活動(2校合同での「ふるさと学習」を中心に)② 異校種間での活動を通したコミュニケーション能力の育成③ ICTを活用した会議の推進と各小中学校間の教職員連携の推進④ 異校種間での合同学習・交流並びに参観授業⑤ 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実にに向けた取組についての研究
2	<p>取組の内容</p> <p>(1)【西祖谷地区小中一貫教育合同研修 5月9日】 様生小学校と西祖谷中学校の教員が集まり、本年度の小中連携について各事業ごとに計画を具体的に話し合った。例えば、「オンライン交流」では、遠隔授業で小学校に理科か社会を4・6年生対象にすることになった。年度当初に顔を合わせて話し合えたことで、先の打ち合わせもスムーズになり、教職員が小中連携をよりイメージを持って取り組めた。</p>  <p>(2)【中学校へおじゃまⅠ 中学校見学 5月10日】 全児童11名は、茶摘み体験をした後、午後から西祖谷中学校を見学した。中学生が勉強している姿や、図書室や美術室など校舎内を中学校の校長先生に案内してもらった。また、給食も体育館で食べた。小学生は、様生小や吾橋小の卒業生、兄弟のがんばっている姿を見ることができた。中学生は、小学生を意識して授業に臨んでおり、お互い良い刺激となった。</p>  <p>(3)【祖谷のかずら橋シラクチカズラ保存の植栽式 7月7日】 かずら橋の材料となるシラクチカズラが祖谷地方でも採れるように、中学生が6年前に植えた苗木を植栽した。小学3・4・6年生と中学生で行った。「資材確保実行委員会」の方々に教わったり、手伝ってもらったりした。小中同じ空間で作業したことで、20、30年後に、かずら橋の材料として利用されることを期待し、自分たちの手で植えたかずらで橋が渡れたらという願いを強く持った。</p>  <p>(4)【小学校へおじゃまⅡ 小学校運動会参加 9月17日】 様生小学校の運動会に、中学校の生徒が参加した。休校となった吾橋小学校の卒業生も集まり、たくさんの種目に出場したり、準備を手伝ったりした。特に創作ダンスは小学生の心をわしづかみした。最後に祖谷のこひき節を地域の方々とも踊り、一体感を味わった。</p>  <p>(5)【オンライン交流授業 体育・理科 11月25日】 中学校の先生がオンラインで「体育・理科」の授業を行った。体育では小学生全員が参加し、ゲームから創作ダンスへつながる内容で、中学生がお手本として参加した。理科は4・6年生が「雲作り」に挑戦。中学3年生も説明してくれた。大きな音と共に雲ができたときは「おー」という歓声があがった。小学校ではできない専門的な授業であり、またいつもと違う少し緊張した時間であった。</p>  <p>(6)【小学校へおじゃまⅢ 英語授業 12月9日、】 中学3年生4名の生徒が小学校に来校。中学校の先生やALTと共に、小学生全員に英語の授業を行った。中3生が司会進行を行い、クイズや連想しりとり、伝言ゲームの活動を行った。中学生は、小学生に英語を教えないといけないということから力を入れて学習準備してきた。小学生は、中学生のように英語ができるようになりたいという気持ちを持った。また、中学校の先生も小学生の実態を把握する機会となり、どのように学習を進めていけば良いか参考になった。</p> 
3	<p>研究の成果と課題</p> <p>(1)成果について</p> <ol style="list-style-type: none">① 中学生は、小学生を意識し自分の力を伸ばそうと努力するようになった。小学生は中学生の学習や運動能力を見て、目指すところが具体的に分かり、お互い相乗効果となった。② 小中が一緒にふるさと学習を行うことで、地域の素晴らしさを味わい、文化や伝統を残していくこととする意欲が一段と高まった。③ オンラインや各事業での交流は、コミュニケーション能力の向上につながっている。④ 1学期の早い段階で小中教職員と一緒に計画を立てたこともあり、小中の子供の発達段階がわかり、9年間の見通しをもって教育を進めることに役立った。 <p>(2)課題について</p> <ol style="list-style-type: none">① 西祖谷地区では、今後さらに児童生徒数が減少していく。各行事や事業によっては、これまで通り継続していくことが極めて難しいと予想される。「子どもたちにどんな力をつけさせたいか」、「どんな児童生徒に育てほしいか」について、全職員が同じビジョンを持ち、各事業の教育的効果をしっかりと見極めたうえで、組織と事業の見直しが必要である。② 日程の調整の難しさを感じた。合同の防災教室や新年の誓いはできなかった。